

## 【使用上の注意】改訂のお知らせ

2018年 4月  
販 売:ニプロ株式会社  
製造販売:昭和製薬株式会社

制 酸 剤  
日本薬局方 **炭酸水素ナトリウム**  
炭酸水素ナトリウム「昭和」<sup>®</sup>

この度、標記製品の【使用上の注意】を改訂致しましたのでお知らせ申し上げます。  
なお、この度の改訂添付文書を封入した製品をお届けするには若干の日時を要しますので、すでにお手元にある製品のご使用に際しましては、ここに案内致します改訂内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

### 1.改訂内容( \_\_\_\_\_ 部:改訂箇所)

改 訂 後	改 訂 前												
<p><b>【禁忌(次の患者には投与しないこと)】</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>ナトリウム摂取制限を必要とする患者(高ナトリウム血症、浮腫、妊娠高血圧症候群等)[ナトリウムの貯留増加により、症状が悪化するおそれがある。]</li><li>ヘキサミンを投与中の患者(「相互作用」の項参照)</li></ol> <p>— 略 —</p> <p><b>【使用上の注意】</b></p> <p>— 略 —</p> <p><b>2. 相互作用</b></p> <p><b>(1)併用禁忌(併用しないこと)</b></p> <table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>ヘキサミン (ヘキサミン 静注液)</td><td>本剤はヘキサミンの効果を減弱させることがある。</td><td>ヘキサミンは酸性尿中でホルムアルデヒドとなり、抗菌作用を発揮するが、本剤は尿のpHを上昇させヘキサミンの効果を減弱させる。</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	ヘキサミン (ヘキサミン 静注液)	本剤はヘキサミンの効果を減弱させることがある。	ヘキサミンは酸性尿中でホルムアルデヒドとなり、抗菌作用を発揮するが、本剤は尿のpHを上昇させヘキサミンの効果を減弱させる。	<p><b>【禁忌(次の患者には投与しないこと)】</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>ナトリウム摂取制限を必要とする患者(高ナトリウム血症、浮腫、妊娠高血圧症候群等)[ナトリウムの貯留増加により、症状が悪化するおそれがある。]</li><li>マンデル酸ヘキサミン(ウロナミン腸溶錠)を投与中の患者(「相互作用」の項参照)</li></ol> <p>— 略 —</p> <p><b>【使用上の注意】</b></p> <p>— 略 —</p> <p><b>2. 相互作用</b></p> <p><b>(1)併用禁忌(併用しないこと)</b></p> <table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>マンデル酸 ヘキサミン (ウロナミン腸 溶錠)</td><td>本剤はヘキサミンの効果を減弱させることがある。</td><td>ヘキサミンは酸性尿中でホルムアルデヒドとなり、抗菌作用を発揮するが、本剤は尿のpHを上昇させヘキサミンの効果を減弱させる。</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	マンデル酸 ヘキサミン (ウロナミン腸 溶錠)	本剤はヘキサミンの効果を減弱させることがある。	ヘキサミンは酸性尿中でホルムアルデヒドとなり、抗菌作用を発揮するが、本剤は尿のpHを上昇させヘキサミンの効果を減弱させる。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子											
ヘキサミン (ヘキサミン 静注液)	本剤はヘキサミンの効果を減弱させることがある。	ヘキサミンは酸性尿中でホルムアルデヒドとなり、抗菌作用を発揮するが、本剤は尿のpHを上昇させヘキサミンの効果を減弱させる。											
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子											
マンデル酸 ヘキサミン (ウロナミン腸 溶錠)	本剤はヘキサミンの効果を減弱させることがある。	ヘキサミンは酸性尿中でホルムアルデヒドとなり、抗菌作用を発揮するが、本剤は尿のpHを上昇させヘキサミンの効果を減弱させる。											

### 2.改訂の概要

<自主改訂>

- 「禁忌」項、「マンデル酸ヘキサミン(ウロナミン腸溶錠)」を「ヘキサミン」に変更しました。
- 「相互作用 併用禁忌」項、「マンデル酸ヘキサミン」を「ヘキサミン」に、「ウロナミン腸溶錠」を「ヘキサミン静注液」に変更しました。